



Derwent WPI

(c) 2009 Thomson Reuters. All rights reserved.

0010336369 & & *Drawing available*

WPI Acc no: 2000-651489/200063

XRPX Acc No: N2000-483168

Advertising delivery system performs data processing of advertising cognitive information after performing memory management of each user's cognitive information

Patent Assignee: NETBANK SERVICE KK (NETB-N)

Inventor: TERAJIMA H

Patent Family (1 patents, 1 & countries)

Patent Number	Kind	Date	Application Number	Kind	Date	Update	Type
JP 2000268090	A	20000929	JP 199970075	A	19990316	200063	B

Priority Applications (no., kind, date): JP 199970075 A 19990316

Patent Details

Patent Number	Kind	Lan	Pgs	Draw	Filing Notes
JP 2000268090	A	JA	17	7	

Alerting Abstract JP A

NOVELTY - An advertising cognitive information memory (20) stores cognitive information, detected from received signal, when advertising cognitive button is pushed. A transmitter outputs the information to management center (5), when the information stored in memory reaches predetermined amount. The memory management of each user's information is performed in the center and the information is processed.

DESCRIPTION - The management center includes an advertising delivery unit (22), which searches advertising data from database (31) based on attribute of each user. Then, the searched data is transmitted to mobile terminal, which has an advertising data memory (19) for storing the data. A display controller (11) reads out the data and displays it, according to predetermined display control procedure.

USE - For delivering advertising data using mobile phone.

ADVANTAGE - Gains advertising efficiency with reduced cost.

DESCRIPTION OF DRAWINGS - The figure shows the block diagram of delivery system.

5 Management center

11 Display controller

20 Information memory

22 Delivery unit

31 Database

Title Terms /Index Terms/Additional Words: ADVERTISE; DELIVER; SYSTEM; PERFORMANCE; DATA; PROCESS; COGNITIVE; INFORMATION; AFTER; MEMORY; MANAGEMENT; USER

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-268090
(P2000-268090A)

(43)公開日 平成12年9月29日(2000.9.29)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21	Z 5 B 0 4 9
13/00	3 5 4	13/00	3 5 4 D 5 B 0 7 5
17/00		15/20	N 5 B 0 8 9
17/30		15/40	3 1 0 G 5 K 0 3 0
H 0 4 Q 7/38			3 1 0 C 5 K 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 17 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平11-70075
(22)出願日 平成11年3月16日(1999.3.16)

(71)出願人 599035937
株式会社 ネットバンクサービス
長野県小諸市己54-20
(72)発明者 寺 島 久 慈
東京都杉並区南荻窪3-10-12
(74)代理人 100064285
弁理士 佐藤 一雄 (外3名)

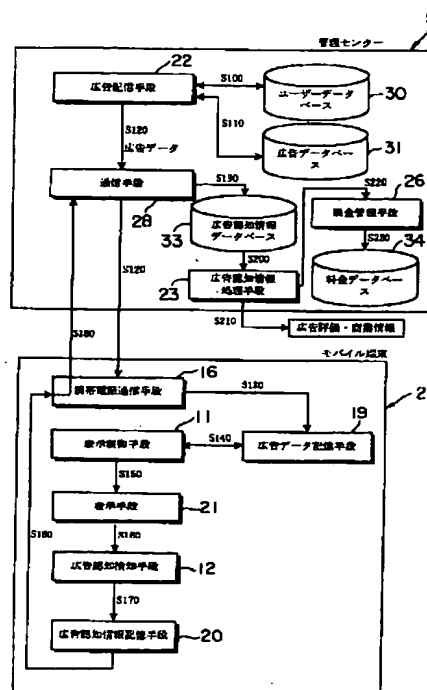
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム

(57)【要約】

【課題】 高性能化した携帯電話あるいは携帯電話機能を備えたモバイル端末の機能を十分に活用し、特定人に直接かつ安価に情報を届けることができる広告配信システムを提供する。

【解決手段】 モバイル端末2に広告データ記憶手段19と、表示手段21と、表示制御手段11と、広告認知検知手段12と、広告認知情報記憶手段20と、携帯電話通信手段16とを備え、管理センター5に、ユーザーデータベース30と、広告データベース31と、広告配信手段22と、広告認知情報処理手段23と、広告認知情報データベース33と、通信手段28と備えた。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 広告データ記憶手段と、表示手段と、表示制御手段と、広告認知検知手段と、広告認知情報記憶手段と、携帯電話通信手段とを有するモバイル端末と、ユーザーデータベースと、広告データベースと、広告配信手段と、広告認知情報処理手段と、広告認知情報データベースと、通信手段と、を有する管理センターとからなり、

前記管理センターにおいては、前記広告配信手段が、前記ユーザーデータベースの各ユーザーの属性を参照して各ユーザーに配信すべき広告データを前記広告データベースから検索し、それらの広告データを前記通信手段を介して各ユーザーのモバイル端末に送信し、前記広告データを受信したモバイル端末においては、その広告データ記憶手段が、受信した広告データを記憶し、前記表示制御手段が、前記広告データ記憶手段から広告データを取得して所定の表示制御方法で前記表示手段に広告を表示させ、ユーザーが広告認知ボタンを押した場合には、前記広告認知検知手段がその信号を検知して広告認知情報として前記広告認知情報記憶手段に蓄積し、前記携帯電話通信手段が、所定の時点またはモバイル端末の所定の操作により前記広告認知情報記憶手段に蓄積された広告認知情報を前記管理センターに送信し、前記広告認知情報を受信した管理センターにおいては、前記広告認知情報データベースが、各ユーザーの広告認知情報を記憶管理し、前記広告認知情報処理手段が、集計を含む広告認知情報のデータ処理を行って出力すること、を特徴とする携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム。

【請求項 2】 前記表示制御手段は、モバイル端末の携帯電話としての通信状態を検出し、受信待ちの状態を検知した場合は所定の広告を前記表示手段に表示させ、ユーザーによる操作ボタンの入力を検知した場合は広告の表示を中止して該当する操作画面を表示させ、ダイヤルしてから相手に接続するまでの通信状態またはユーザーによる広告閲覧のボタンの入力を検知した場合は前記広告データ記憶手段に記憶された複数の広告データを所定の順序と時間で順番に表示させ、この順次表示する広告表示状態でユーザーが広告認知ボタンを入力した場合は、その広告データの表示時間を一定長さあるいはユーザーによる確認入力あるいは携帯電話としての通信状態の変化があるまで延長すること、を特徴とする請求項 1 に記載の携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム。

【請求項 3】 表示手段と、広告データ記憶手段と、広告検索手段と、ホームページアクセス手段と、ブラウザー手段と、携帯電話通信手段とを有するモバイル端末と、アドレス情報を含む広告データを記憶管理する広告データベースと、広告配信手段と、通信手段と、を有する管理センターとからなり、

前記管理センターにおいては、前記広告配信手段が、前記広告データベースから追加・更新のあった広告データを検索し、それらの広告データを前記通信手段を介してユーザーのモバイル端末に送信し、

前記広告データを受信したモバイル端末においては、その広告データ記憶手段が、受信した広告データを記憶し、前記広告検索手段が、ユーザーの起動命令によって所定の検索メニューを前記表示手段に表示させ、ユーザーの検索操作によって前記広告データ記憶手段から該当する広告データを検索して前記表示手段に表示させ、ユーザーが広告選択操作を行った場合には前記ホームページアクセス手段がその信号を検知してその広告データのアドレスに接続し、前記ブラウザー手段がその広告データアドレスのホームページとの通信を行うことを特徴とする携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム。

【請求項 4】 前記モバイル端末は、表示制御手段を有し、前記表示制御手段は、モバイル端末の携帯電話としての通信状態を検出し、通話状態以外の通信状態において前記広告データ記憶手段から広告データを取得して所定の表示制御方法で前記表示手段に広告を表示させ、ユーザーが広告選択操作を行った場合には前記ホームページアクセス手段がその信号を検知してその広告データのアドレスに接続し、前記ブラウザー手段がその広告データアドレスのホームページとの通信を行うことを特徴とする請求項 3 に記載の携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム。

【請求項 5】 前記モバイル端末は、アクセス検知手段と、アクセス情報記憶手段とを有し、

前記管理センターは、アクセス情報データベースと、アクセス情報処理手段とを有し、

前記モバイル端末のアクセス検知手段は、ユーザーが所定のホームページにアクセスした場合に、そのアクセス動作を検知してアクセス情報として前記アクセス情報記憶手段に蓄積し、前記携帯電話通信手段が、所定の時点またはモバイル端末の所定の操作により前記アクセス情報記憶手段に蓄積されたアクセス情報を前記管理センターに送信し、

前記管理センターにおいては、前記アクセス情報データベースが受信した各ユーザーのアクセス情報を記憶管理し、前記アクセス情報処理手段が、集計を含むアクセス情報の処理を行って出力すること、を特徴とする請求項 3 または 4 に記載の携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム。

【請求項 6】 前記管理センターは、各ユーザーの携帯電話使用料金の情報を記憶管理する料金データベースと課金管理手段とを有し、

前記課金管理手段は、前記広告認知情報処理手段または前記アクセス情報処理手段によって集計された広告認知情報またはアクセス情報を取得し、前記料金データベー

スにアクセスし、広告認知またはホームページアクセスの度数に応じて各ユーザーの携帯電話使用料金を更新することを特徴とする請求項1、2または5に記載の携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム。

【請求項7】前記管理センターは、新着広告データ入力手段と、広告データベース更新手段とを有し、前記新着広告データ入力手段は、新着情報を蓄積する新着情報データベースを検索し、新着の広告データがあった場合にその広告データを入力し、あるいは受動的に新着の広告データを入力し、前記広告データベース更新手段によって広告データベースを更新し、前記広告配信手段は、一定の時間や所定の制御方法により前記広告データベースにアクセスし、更新あるいは追加された広告データを検索し、更新か追加かの識別信号を付して送信すべきユーザーのモバイル端末に配信し、前記モバイル端末は、前記広告配信手段により送信された広告データの種別信号により、広告データ記憶手段の広告データを一部あるいは全部更新する広告データ更新手段を有していることを特徴とする請求項1ないし6のいずれかに記載の携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯電話の機能を備えたモバイル端末（高度の処理能力を備えた携帯電話を含む）を用いた広告配信システムに関する。

【0002】

【従来の技術】広告は、一般的には商品・サービスの販売促進を目的として需要者に向けて送られる情報である。上記通常の意味の広告のほか、本明細書では、広告データには情報自体に商品価値がある情報を含むものとする。

【0003】従来から、広告は新聞、雑誌、ダイレクトメール、テレビ、ラジオ等の種々のメディアを介して需用者に届けられていた。これに加えて、最近は、コンピュータ、通信技術、インターネットを代表とする通信インフラ等の発達により、コンピュータ通信を利用した広告活動が行われるようになった。

【0004】上記は、メディアによる広告の分類ということができる。

【0005】これに対して、広告方法によって広告を分類するとすれば、不特定多数人を対象とする広告と、特定の属性の人を対象とする広告とを挙げることができる。前者は、たとえば新聞、雑誌、テレビ等による広告である。後者は、ダイレクトメールによる広告が代表的である。

【0006】コンピュータ通信による広告については、不特定多数人を対象とするものと、特定人を対象とするものの双方がある。ホームページに掲載することは不特

定多数人を対象とする広告活動であり、広告用の電子メールを送信することは特定人を対象とする広告活動である、ということができる。

【0007】以上の従来の広告に対して、特に最近は、個人用の情報ツールとして携帯電話が普及するようになった。

【0008】この携帯電話は、広告用の情報を直接ユーザーに伝達することができる媒体であるが、この携帯電話を利用した広告方法としては、電話機能を利用して広告、勧誘活動に利用するのみであった。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】上記新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等の不特定多数人を対象とする従来の広告活動では、ターゲットとする商品・サービスの需用者層に集約して広告情報を届けることができない、という問題があった。

【0010】この不特定多数人を対象とする対象とする広告方法では、新聞等においては一定の紙面、テレビ等においては一定の時間を占有するしなければならないため、一般にメディアの利用料金が高額になっていた。反面、必要な人に必要な情報を適宜届けることができないため、広告の効率や効果が低かった。

【0011】一方、ダイレクトメールという広告方法は、対象とする需用者層に集中的に広告できるものの、広告を印刷物という媒体上に表わさなければならないこと、郵便を利用しなければならないこと等により、物的・人的資源を消費しなければならず、広告に効果に比して時間、コスト、労力が高かった。

【0012】上記新聞、テレビ、郵便等のメディアに対して、携帯電話は、特定人に直接広告情報を届けることができること、情報が電子データという形で相手に届けられること、情報量に対して通信費が低いことなどの利点を有している。

【0013】最近は、携帯電話の高性能化が進み、従来からあった電話番号等を記憶するための記憶手段、携帯電話自体を管理するための制御手段が高性能化し、さらに、データ通信も行うことができるようになって、本発明が対象とする「携帯電話機能を備えたモバイル端末」と呼ばれる携帯電話が出現するようになった。

【0014】このような高性能の携帯電話によれば、文字データ、画像データの受送信が可能になり、情報量に対して通信費がさらに低くなっている。また、画像データにより、効果的な広告データを送受信することが可能となった。

【0015】つまり、最近の進化した携帯電話、モバイル端末は、広告用のメディアとして、優れた素質を有していると言える。

【0016】しかし、従来の携帯電話を利用した広告は、上述した通り、専ら電話による勧誘・広告活動に留まっていた。

【0017】これでは、新しいメディアを有効活用できず、時間や労力を徒に浪費し、効率が低かった。

【0018】そこで、本発明が解決しようとする課題は、高性能化した携帯電話あるいは携帯電話機能を備えたモバイル端末の機能を十分に活用し、特定人に直接かつ安価に情報を届けることができる広告配信システムを提供することにある。

【0019】

【課題を解決するための手段】本願請求項1に係る携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システムは、広告データ記憶手段と、表示手段と、表示制御手段と、広告認知検知手段と、広告認知情報記憶手段と、携帯電話通信手段とを有するモバイル端末と、ユーザーデータベースと、広告データベースと、広告配信手段と、広告認知情報処理手段と、広告認知情報データベースと、通信手段と、を有する管理センターとからなり、前記管理センターにおいては、前記広告配信手段が、前記ユーザーデータベースの各ユーザーの属性を参照して各ユーザーに配信すべき広告データを前記広告データベースから検索し、それらの広告データを前記通信手段を介して各ユーザーのモバイル端末に送信し、前記広告データを受信したモバイル端末においては、その広告データ記憶手段が、受信した広告データを記憶し、前記表示制御手段が、前記広告データ記憶手段から広告データを取得して所定の表示制御方法で前記表示手段に広告を表示させ、ユーザーが広告認知ボタンを押した場合には、前記広告認知検知手段がその信号を検知して広告認知情報として前記広告認知情報記憶手段に蓄積し、前記携帯電話通信手段が、所定の時点またはモバイル端末の所定の操作により前記広告認知情報記憶手段に蓄積された広告認知情報を前記管理センターに送信し、前記広告認知情報を受信した管理センターにおいては、前記広告認知情報データベースが、各ユーザーの広告認知情報を記憶管理し、前記広告認知情報処理手段が、集計を含む広告認知情報のデータ処理を行って出力する、ことを特徴とするものである。

【0020】本願請求項2に係る広告配信システムは、上記請求項1の広告配信システムにおいて、前記表示制御手段は、モバイル端末の携帯電話としての通信状態を検出し、受信待ちの状態を検知した場合は所定の広告を前記表示手段に表示させ、ユーザーによる操作ボタンの入力を検知した場合は広告の表示を中止して該当する操作画面を表示させ、ダイヤルしてから相手に接続するまでの通信状態またはユーザーによる広告閲覧のボタンの入力を検知した場合は前記広告データ記憶手段に記憶された複数の広告データを所定の順序と時間で順番に表示させ、この順次表示する広告表示状態でユーザーが広告認知ボタンを入力した場合は、その広告データの表示時間を一定長さあるいはユーザーによる確認入力あるいは携帯電話としての交信状態の変化があるまで延長するこ

とを特徴とするものである。

【0021】本願請求項3に係る広告配信システムは、表示手段と、広告データ記憶手段と、広告検索手段と、ホームページアクセス手段と、ブラウザー手段と、携帯電話通信手段とを有するモバイル端末と、アドレス情報を含む広告データを記憶管理する広告データベースと、広告配信手段と、通信手段と、を有する管理センターとからなり、前記管理センターにおいては、前記広告配信手段が、前記広告データベースから追加・更新のあった広告データを検索し、それらの広告データを前記通信手段を介してユーザーのモバイル端末に送信し、前記広告データを受信したモバイル端末においては、その広告データ記憶手段が、受信した広告データを記憶し、前記広告検索手段が、ユーザーの起動命令によって所定の検索メニューを前記表示手段に表示させ、ユーザーの検索操作によって前記広告データ記憶手段から該当する広告データを検索して前記表示手段に表示させ、ユーザーが広告選択操作を行った場合には前記ホームページアクセス手段がその信号を検知してその広告データのアドレスに接続し、前記ブラウザー手段がその広告データアドレスのホームページとの交信を行うことを特徴とするものである。

【0022】本願請求項4に係る広告配信システムは、上記請求項3の広告配信システムにおいて、前記モバイル端末は、表示制御手段を有し、前記表示制御手段は、モバイル端末の携帯電話としての通信状態を検出し、通話状態以外の通信状態において前記広告データ記憶手段から広告データを取得して所定の表示制御方法で前記表示手段に広告を表示させ、ユーザーが広告選択操作を行った場合には前記ホームページアクセス手段がその信号を検知してその広告データのアドレスに接続し、前記ブラウザー手段がその広告データアドレスのホームページとの交信を行うことを特徴とするものである。

【0023】本願請求項5に係る広告配信システムは、上記請求項3または4の広告配信システムにおいて、前記モバイル端末は、アクセス検知手段と、アクセス情報記憶手段とを有し、前記管理センターは、アクセス情報データベースと、アクセス情報処理手段とを有し、前記モバイル端末のアクセス検知手段は、ユーザーが所定のホームページにアクセスした場合に、そのアクセス動作を検知してアクセス情報として前記アクセス情報記憶手段に蓄積し、前記携帯電話通信手段が、所定の時点またはモバイル端末の所定の操作により前記アクセス情報記憶手段に蓄積されたアクセス情報を前記管理センターに送信し、前記管理センターにおいては、前記アクセス情報データベースが受信した各ユーザーのアクセス情報を記憶管理し、前記アクセス情報処理手段が、集計を含むアクセス情報の処理を行って出力することを特徴とするものである。

【0024】本願請求項6に係る広告配信システムは、

上記請求項 1, 2, 5 の広告配信システムにおいて、前記管理センターは、各ユーザーの携帯電話使用料金の情報を記憶管理する料金データベースと課金管理手段とを有し、前記課金管理手段は、前記広告認知情報処理手段または前記アクセス情報処理手段によって集計された広告認知情報またはアクセス情報を取得し、前記料金データベースにアクセスし、広告認知またはホームページアクセスの回数に応じて各ユーザーの携帯電話使用料金を更新することを特徴とするものである。

【0025】本願請求項 7 に係る広告配信システムは、上記請求項 1-6 の広告配信システムにおいて、前記管理センターは、新着広告データ入力手段と、広告データベース更新手段とを有し、前記新着広告データ入力手段は、新着情報を蓄積する新着情報データベースを検索し、新着の広告データがあった場合にその広告データを入力し、あるいは受動的に新着の広告データを入力し、前記広告データベース更新手段によって広告データベースを更新し、前記広告配信手段は、一定の時間や所定の制御方法により前記広告データベースにアクセスし、更新あるいは追加された広告データを検索し、更新か追加かの識別信号を付して送信すべきユーザーのモバイル端末に配信し、前記モバイル端末は、前記広告配信手段により送信された広告データの種別信号により、広告データ記憶手段の広告データを一部あるいは全部更新する広告データ更新手段を有していることを特徴とするものである。

【0026】

【発明の実施の形態】次に、本発明による「携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム」の一実施形態について願書に添付した図面を用いて以下に説明する。

【0027】ここで、「携帯電話機能を備えたモバイル端末」とは、すでに述べたように、携帯電話にデータ処理装置・機能が加わった情報端末、あるいは高度なデータ処理機能を有する携帯電話をいう。

【0028】最初に、本発明に係るシステムの物理的な構成について説明する。図 1 に本発明の広告配信システムの物理的な構成を示す。

【0029】全体を符号 1 で示した本発明の「携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム」を利用する者としては、モバイル端末のユーザー 8、携帯電話の事業者（管理センター 5 の事業者）、広告主 9、情報提供者 10 が挙げられる。

【0030】本発明の広告配信システムを支えるハードウェア資源としては、携帯電話機能を備えた多数のモバイル端末 2 と、携帯電話通信網 3 と、インターネット 4 と、管理センター 5 と、新着情報データベース 6 と、ここで便宜上物的な存在とするホームページ 7 とが挙げられる。

【0031】図 1 には、本発明による広告配信システム

1 の処理の流れ、データの流れが大まかに示されている。

【0032】本広告配信システム 1 のモバイル端末 2 は、携帯電話としての機能、広告データ受信等の情報端末としての機能、インターネットアクセスを行う情報端末としての機能、の複数の機能を有する。

【0033】携帯電話通信網 3 と管理センター 5 は、上記モバイル端末 2 の各機能を支える役割を果たす。携帯電話通信網 3 は、無線局、基地局、交換局等を有し、公知の携帯電話通信網と同様のものである。また、管理センター 5 は、既存の携帯電話事業者の管理センターを想定しているが、携帯電話事業者と独立の広告配信業者でもよい。

【0034】携帯電話として使用されるときは、モバイル端末 2 は通常の携帯電話と同様に電波を発信し、携帯電話通信網 3 と管理センター 5 とを介して他のモバイル端末 2 に接続して音声による交信を行うことができる。

【0035】これに対して、本発明の目的とする広告データ配信システムは、以下のように実現される。

【0036】まず、管理センター 5 は、本システムを利用する広告主 9 から広告データを集めて記憶する。管理センター 5 は、後述するように各ユーザー 8 の属性に応じてそれぞれ異なるセットの広告データを、携帯電話通信網 3 を通じて各ユーザー 8 のモバイル端末 2 に配信する。この広告データを受信したモバイル端末 2 では、後述の方法により、広告データが記憶され、一定の制御の下で画面に表示される。

【0037】広告データが表示されているモバイル端末 2 を使用するユーザー 8 は、通常の使用状態においては何ら操作を行うことなく広告データを見る一方、一定の操作をすることにより、特定の広告データを見たという信号を管理センター 5 に送信することができる。この「広告データを見たという信号」は、ここでは広告認知情報と呼ぶことにする。

【0038】広告認知情報を受信した管理センター 5 は、ユーザー 8 が広告を見た代償としてユーザー 8 の携帯電話使用料金を値引きする処理を行う。

【0039】このユーザー 8 の携帯電話使用料金の値引きは、広告主 9 の広告料金の一部によって賄われる。これにより、ユーザー 8 は、携帯電話使用料金の低減という利益を享受することができる。

【0040】なお、広告データは、管理センター 5 からモバイル端末 2 へ定期的、あるいは広告データの更新時に配信される。

【0041】さらに、本広告配信システム 1 では、商品のより詳しい情報を掲載したホームページ 7 をインターネット 4 上に掲載し、興味あるユーザー 8 のさらなる情報収集の要求に応じている。

【0042】ホームページ 7 は、広告主 9 が作成し、そのアドレス情報を広告データとともにモバイル端末 2 に

配信する。広告データによって興味を感じたユーザー 8 は、モバイル端末 2 の通信機能を利用してホームページ 7 にアクセスすることができる。この操作においては、携帯電話通信網 3、管理センター 5 は、モバイル端末 2 のデータ通信をサポートする。これにより、ユーザーにとっては、興味ある商品について詳しい情報を得ることができ、広告主 9 にとっても効果的にホームページ 7 を利用することになる。また、技術的には大量の情報を直接モバイル端末 2 に送信する場合に比べて、通信の負荷を軽減し、モバイル端末 2 の高い処理能力・容量を要しない。

【0043】また、広告配信システム 1 は、ユーザー 8 に最新の情報を届ける情報配信システムとしての機能を果たすことができる。

【0044】最新情報の配信システムとして機能させるには、新着情報データベース 6 に最新の情報（広告データに限らず、ニュースのような情報自体に価値を有するデータを含むものとする）を情報の発生とほぼ同時に収集、記憶するようにする。最新の情報を提供する者としては、広告主 9 のほか、情報提供者 10 が考えられる。

【0045】この新着情報データベース 6 に対して、管理センター 5 は定期的に、あるいは制御されたタイミングでアクセスし、未入手の新着情報を入力する。この新着情報は、上述した広告データと同様の方法で各ユーザー 8 のモバイル端末 2 に配信される。これにより、ユーザー 8 は最新の情報、広告データ等を閲覧することができるようになる。

【0046】以上が、本発明による「携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム」の全体像であったが、以下に各機能、処理を実現する構成・方法について詳しく説明する。

【0047】図 2 は、本発明で重要な処理を行うモバイル端末 2 と管理センター 5 の内部ハードウェア構成を示している。

【0048】モバイル端末 2 は、通常の携帯電話と同様に通信装置、処理装置、記憶装置、表示装置とを有している。モバイル端末 2 の処理装置は、表示制御手段 11、広告認知検知手段 12、ブラウザー手段 13、アクセス検知手段 14、広告データ更新手段 15、広告検索手段 40 の各手段を実現する。通信装置は、携帯電話通信手段 16、ホームページアクセス手段 17 の各手段を実現する。記憶装置は、アクセス情報記憶手段 18、広告データ記憶手段 19、広告認知情報記憶手段 20 の各手段を実現する。表示装置は、表示手段 21 を実現する。

【0049】なお、図 2 には、好ましいモバイル端末 2 の形態を併せて示すことにする。本発明の広告配信システム 1 に使用するモバイル端末 2 としては、図示するように表示画面が広く、ダイヤルをすることができるタッ

チパネルからなるものが好ましい。

【0050】管理センター 5 は、情報処理センターとして処理装置、通信装置、入力・処理装置、記憶装置とを有している。管理センター 5 の処理装置は、広告配信手段 22、広告認知情報処理手段 23、アクセス情報処理手段 24、広告データベース更新手段 25、課金管理手段 26、新着広告データ入力手段 27 の各手段を実現する。通信装置は通信手段 28 を実現する。入力・処理装置は新着広告データ入力手段 29 を実現する。記憶装置は、ユーザーデータベース 30、広告データベース 31、アクセス情報データベース 32、広告認知情報データベース 33、料金データベース 34 を有している。

【0051】以上は、モバイル端末 2 と管理センター 5 の構成手段であるが、本発明はこれらの構成手段を全部同時に必要とするものではない。すなわち、実現しようとするシステムにより、それに応じた構成手段が適宜組み合わされれば十分である。以下に、それぞれ特定の処理を行うシステムの構成とそれらの処理について説明する。

【0052】図 3 は、広告データ配信を行う本発明の基本的なシステムの構成と処理の流れを示している。なお、ユーザーデータベース 30 にはモバイル端末 2 の各ユーザーの属性データ、広告データベース 31 には広告主 9 から配信すべき広告データがすでに入力されているものとする。

【0053】最初に、広告配信手段 22 はユーザーデータベース 30 と広告データベース 31 にそれぞれアクセスして、ユーザーの属性と広告データの対象者のマッチングを行う（S100、S110）。ここで、ユーザーの属性データとは、各ユーザーの年齢、性別、家族構成、資産状態等の情報をいう。一方、広告データには、配信すべき対象を示す属性データが付されている。広告データの属性データとは、商品の性質・価格により、例えば若年の女性、中高年の男性が対象という風に配信対象者により付されているデータをいう。広告配信手段 22 は、ユーザーデータベース 30 と広告データベース 31 とにアクセスし、ユーザーと広告データの属性をチェックし、各ユーザーに配信すべき広告データのセットを決定する。次に、広告配信手段 22 は、通信手段 28 により各ユーザーのモバイル端末 2 に上記広告データセットを送信する（S120）。

【0054】モバイル端末 2 では、携帯電話通信手段 16 により上記広告データセットを受信し、受信できた広告データを広告データ記憶手段 19 に記憶する（S130）。

【0055】次に、モバイル端末 2 の表示制御手段 11 は、広告データ記憶手段 19 から広告データを取得し、後述する所定の表示制御方法で表示手段 21 に広告データを表示させる（S150）。

【0056】ユーザーが特に意識して広告データを見な

いは、広告データは一定の画面、あるいは一定の順番で広告データが表示されるのみである。しかし、ユーザーが特に意識して特定の広告データを見るために後述の操作を行った場合には、広告認知検知手段 12 がこれを広告認知情報として検知する (S160)。検知された広告認知情報は、広告認知情報記憶手段 20 に送られ、広告認知情報記憶手段 20 に一時的に記憶される (S170)。

【0057】 広告認知情報記憶手段 20 に記憶された広告データは、所定の時点またはモバイル端末 2 の所定の操作により、携帯電話通信手段 16 によって管理センター 5 に送信される (S180)。

【0058】 管理センター 5 側では、通信手段 28 が上記広告認知情報を受信し、広告認知情報データベース 33 に記憶させる (S190)。広告認知情報処理手段 23 は、広告認知情報データベース 33 に記憶された広告認知情報を入力し、集計を含む所定のデータ処理を行い (S200)、広告に対する評価あるいは商業情報として出力するとともに (S210)、課金情報として課金管理手段 26 に出力する (S220)。

【0059】 課金管理手段 26 は、広告認知情報処理手段 23 から得た課金情報により、料金データベース 34 にアクセスし、広告認知の度数により低減する方向に各ユーザーの携帯電話の使用料金のデータを更新する (S230)。

【0060】 以上が広告配信システムの処理の流れである。次に、広告データがモバイル端末 2 において如何に表示され、ユーザーが如何にして広告データを認識するかについて説明する。

【0061】 図 4 は、表示制御手段 11 の表示制御の流れの一例を示している。

【0062】 この表示制御方法では、モバイル端末 2 に電源が投入されると (S10)、携帯電話としての必要な表示情報がない限り、表示制御手段 11 が特定の広告データを表示する (S11)。この特定の広告データをホーム広告と呼ぶ。

【0063】 ホーム広告を表示する間、表示制御手段 11 は、ユーザーによる操作ボタン (この場合は電話をするための操作ボタン) の入力の有無をチェックする (S12)。操作ボタンの入力がなければ、引き続きホーム広告を表示し (S11)、操作があれば、入力画面を表示する (S13)。

【0064】 入力画面が表示された場合は、これを用いてユーザーがダイヤルする (S14)。ダイヤル後、表示制御手段 11 は、相手に接続するまでの状態 (呼出し中の状態) か否かを検知する (S15)。

【0065】 呼出し中の状態であるならば、表示制御手段 11 は、広告データ記憶手段 19 から広告データを取り出して一定の順序と時間で順次表示する (S16)。なお、この広告データの順次表示は、一広告データあた

り約 2 秒とするのが好ましい。通常、ダイヤルしてから相手に接続するまでの間は、ユーザーは表示画面を見るので、この間に多くの広告をユーザーに見てもらうことができる。

【0066】 広告データが順次表示される表示画面では、表示制御手段 11 は広告データの表示時間を延長するためのボタンを同時に表示させる。この広告データの表示延長ボタンは、同時に広告認知ボタンになっており、ユーザーが特定の広告データの表示時間を延長するようにボタンを押した場合には (S17)、表示制御手段 11 が当該広告データの表示時間を延長し (S18)、同時に、広告認知検知手段 12 がその広告が認知されたことを検知する (S18)。広告表示の延長は、一定の時間長さ、あるいはユーザーによる確認入力、あるいは携帯電話としての通信状態が変化するまで延長される。

【0067】 ダイヤルした相手に電話がつながった場合には、呼出し中の状態でなくなるので (S15)、通話相手に接続する (S19)。

【0068】 以上の表示制御により、通常は、ユーザーがダイヤルをしない限り、ホーム広告が表示され、ユーザーがダイヤルしてモバイル端末 2 の表示画面を注目している間は、多数の広告データが順次表示される。

【0069】 なお、上記のホーム広告、広告データの順次表示は、適宜変形させることができる。

【0070】 例えば、図 4 の例では、ユーザーがダイヤルをしない限り、ホーム広告が表示されているが、ダイヤルに限らず、モバイル端末 2 の任意のボタンを操作することにより、広告データを順次表示する表示モードに切り替えられるようにすることができる。この順次表示する表示モードで、広告認知ボタンを入力することにより、当該広告データの表示時間が延長される点は、図 4 の例と同様にすることができる。

【0071】 請求項 2 において、「前記表示制御手段は、モバイル端末の携帯電話としての通信状態を検出し、受信待ちの状態を検知した場合は所定の広告を前記表示手段に表示させ、ユーザーによる操作ボタンの入力を検知した場合は広告の表示を中止して該当する操作画面を表示させ、」という記載は、モバイル端末 2 に対する操作が、ダイヤルに限らない趣旨である。

【0072】 以上の記載から、図 3 と図 4 に示された処理により、本広告配信システム 1 は以下の作用効果を奏することが分かる。

【0073】 上記広告配信システム 1 によれば、ターゲットとするユーザーに絞って必要な広告を行うことができる。極言すれば、各ユーザーに対して一対一の広告を行うことができる。

【0074】 これは、広告配信手段 22 が各ユーザーの属性を調べ、その属性のユーザーに配信すべき広告データを配信することができるからである。ある意味では、

ユーザーにとっても、自分にとって必要な情報のみを閲覧することができるので、利点がある。

【0075】これにより、従来のマスコミュニケーションによる広告に比べ、必要とする需用者に必要な広告を行うことができるので広告効率が高く、しかも、テレビや新聞等のように広告のために所定の時間や紙面を割く必要がないので、広告費用の大幅な低減を図ることができる。

【0076】また、郵便によるダイレクトメールの場合に比べれば、一対一の広告を行うことができる点では同じであるが、広告配信システム1によれば、広告を電子データの形でユーザーに届けることができるので、人的・物的資源を消費するダイレクトメールに比べて、費用、迅速さの面で著しい改善を図ることができるのである。

【0077】また、ユーザーにとって、広告データを見ること（広告認知ボタンを押すこと）により、携帯電話の使用料が低減される利点がある。この携帯電話の使用料の低減は、広告主9の広告費用によって賄われるが、広告主9にとってはその費用を負担しても、前述した通りテレビ、新聞、ダイレクトメールの場合に比べて全体として広告費用の低減を図ることができる。

【0078】また、本広告配信システム1によれば、広告の評価をするための情報、商業情報を得られる利点もある。これは、広告認知検知手段12がユーザーの広告認知情報を検出し、これを管理センター5に送信し、広告認知情報処理手段23が広告認知情報の処理を行うことにより実現される。

【0079】広告認知情報は、各ユーザーがどの広告に興味をもったかの正確な情報であるので、ユーザーの属性データと合わせて、正確な消費動向、流行の傾向を予測するデータとなり得る。従来、このような消費動向、流行の傾向を予測するためには、膨大なアンケート調査を行っていたが、本システムによれば、迅速、正確、かつ、安価に情報を収集することができるのである。

【0080】次に、上記広告配信機能に他の機能を加えた広告配信システムについて説明する。

【0081】図5は、ホームページにアクセスするための機能を有する広告配信システムの構成と処理の流れを示している。ここで、ホームページアクセスする機能とは、所定の商品について、広告データとともに詳しい情報を提供するホームページを掲載し、ユーザーは任意の商品等についての情報を検索でき、ユーザーの希望により、モバイル端末2で検索した広告データからホームページに直接アクセスすることができる機能である。

【0082】図5において、図3に対してホームページアクセスに関係する部分を、太線で強調して示す。以下、図5に沿って説明する。

【0083】この広告配信システムでは、広告データにホームページのアドレス情報が含まれている。広告配信

手段22は、ユーザーデータベース30から上記広告データを検索し、各ユーザーのモバイル端末2に配信する。検索用の広告データは、検索のためのデータ、たとえば検索メニューの所定の選択肢に対応する属性データを含むものとする。なお、検索に使用される広告データは、前記各ユーザーに一対一の広告ではなく、すべてのユーザーに対して同一である必要はないが、比較的広い分野の広告データを各ユーザーに配信するのが好ましい。ユーザーの特殊な検索にも対応するためである。

【0084】上記広告データは、モバイル端末2の広告データ記憶手段19によって記憶される。また、モバイル端末2では、広告データを検索するための操作ボタンを用意しておく。

【0085】広告データ検索用の操作ボタンをユーザーが操作したときは、広告検索手段40が起動し、所定の検索メニューを表示する（S300）。

【0086】検索メニューは数種類用意しておくことができる。例えば、商品分野別の検索メニューを用意しておくこともできるし、ユーザーのタイプ別に異なる検索メニューのセットを用意しておくこともできる。

【0087】上記所定の検索メニューにより、ユーザーが検索操作をすると、広告検索手段40は該当する広告データの候補を広告データ記憶手段19から取得して表示し、それらの候補からユーザーが所定の広告データを選択した場合には、ホームページアクセス手段17により、その広告データに対応するホームページにアクセスする（S310）。ホームページアクセス手段17は、ホームページ掲載サイトへのアクセス、プロトコルの確立等を行う。

【0088】ホームページと接続した後は、ブラウザー手段13が当該ホームページとのデータのやりとりを行う（S330）。

【0089】上記ホームページアクセス手段17が所定のサイトにアクセスした場合は、アクセス検知手段14がこれを検知し、アクセス情報としてアクセス情報記憶手段18に記憶させる（S340）。

【0090】アクセス情報記憶手段18に記憶蓄積されたアクセス情報は、所定の時点またはモバイル端末2の所定の操作により、携帯電話通信手段16によって管理センター5に送信される（S180）。

【0091】管理センター5では、通信手段28が各ユーザーのアクセス情報を受信し、アクセス情報データベース32に記憶させる（S350）。広告認知情報処理手段23は、アクセス情報データベース32に蓄積されたアクセス情報に対して統計的な処理を行い、これを広告評価情報、または商業情報として出力する（S370）。

【0092】一方、課金管理手段26は、広告認知情報処理手段23の処理結果を入力し（S380）、料金データベース34にアクセスし、ホームページのアクセス

の度数に応じて各ユーザーの携帯電話しよう料金を低減する方向に更新する（S390）。

【0093】以上が、ホームページアクセス機能を有する広告配信システムの構成と処理の流れについての説明であったが、ここで図6を用いて、広告データ検索時の画面表示制御について説明する。

【0094】図6は、図4に対して広告検索の処理を付加したフローチャートである。

【0095】図6において、ホーム広告を表示した状態（S11、S12）で操作ボタン（広告検索手段40を起動するボタン）の入力があった場合は、広告検索手段40が起動し、広告検索のメニュー画面を表示する（S20）。

【0096】この広告検索メニューは、特定の広告データが選択されるまで、段階的に検索画面を表示する（S20）。

【0097】複数の選択候補から特定の広告が選択されたときは（S21）、その広告データを表示する（S22）。その広告データに対して、ユーザーからホームアクセス要求がなければ、また広告検索メニューの画面に戻る（S20）。

【0098】選択した広告データに対して、ユーザーからホームアクセス要求があった場合は、そのホームページにアクセスする（S24）。以降の画面表示は、ブラウザ手段13により行う。

【0099】以上が、ホームページアクセス機能を有する広告配信システムの構成と処理の流れについての説明であった。

【0100】この広告配信システムによれば、すでに説明した広告配信システムの作用効果を奏する他、ホームページアクセス機能によって奏する特有の作用効果を有する。

【0101】このホームページアクセス機能のシステムによれば、小型軽量が要求されるモバイル端末2を用いて、詳しい情報提供をすることができる。すなわち、ホームページに含まれる大量の情報にアクセスするためには、いきおい情報処理装置が大型化した。本システムによれば、ユーザーには少しのデータ量からなる広告データで検索させ、真に必要な情報に対してのみ大量の情報量を含むホームページにアクセスさせることができる。

【0102】また、ホームページはアクセスされなければ意味がないが、現在のように無数のホームページがインターネットに掲載されている状態では、見てもらいたいユーザーにアクセスしてもらうことも容易ではなくなっている。

【0103】しかし、本システムによれば、真にホームページを見てもらいたいユーザーに容易にアクセスする手段を与えることができるのである。

【0104】次に、新着情報を配信する機能を有する広

告配信システムについて説明する。図7に、新着情報配信機能を有する広告配信システムの構成と処理の流れを示す。

【0105】なお、図7は図3の広告配信システムに対して新着情報配信に関係する部分を、太線で強調して示している。以下、図7に沿って本システムを説明する。

【0106】図7において、新着情報データベース6は新たに発生した情報を随時蓄積する。新着情報には、広告主9によりそれまで配信していた広告データの代替データが含まれる。すなわち、この場合、同一の商品に対して複数の広告データを用意しておき、広告データを入れ替えることにより、ユーザーに対して新鮮な印象を与えることができる。

【0107】また、新着情報には、図1に示した情報提供業者10が提供する情報も含まれる。例えば、ニュース、天気予報等である。なお、これらの新着情報は、広告データとは言い難いが、本明細書では便宜上新着情報を広告データに含めて、あるいは逆に広告データを新着情報に含めていうことがあることは前述した通りである。

【0108】さて、このように新着情報を蓄積した新着情報データベース6に対し、管理センター5の新着広告データ入力手段27は、一定のタイミングでアクセスして新着の広告データを検索し、新着広告データがあった場合にはこれを入力する（S400）。

【0109】なお、上記ケースは新着広告データ入力手段27が能動的に新着情報データベース6を検索するケースであったが、外部の装置あるいは人間により、受動的に新着広告データ入力手段27によって新着情報を入力することもできる。

【0110】このように新着広告データ入力手段27を介して入力された新着情報は、広告データベース更新手段25により、広告データベース31に入力される（S410）。広告データベース更新手段25が広告データベース31のデータを更新する際は、更新・追加の情報が当該データに付加される。

【0111】次に、広告配信手段22は、一定の時間または制御方法により、広告データベース31にアクセスし、更新あるいは追加された広告データを検索し、更新か追加かの識別信号を付して送信すべきユーザーのモバイル端末2に配信する（S120）。

【0112】モバイル端末2では、携帯電話通信手段16が上記新着の広告データを受信し、広告データ更新手段15が、広告データの更新・追加の種別信号により、広告データ記憶手段19に記憶された広告データの全部あるいは全部更新する（S430）。ここで、広告データを「全部更新する」とは、配信する広告データが、新旧のデータを含めて、全体を入れ替えるデータセットからなる場合である。

【0113】この新着情報を取り出して表示する以降の

処理は、図3で説明した広告配信システム1と同じなので、ここでの重複する説明を省略する。

【0114】この新着情報配信機能を有する広告配信システムによれば、ニュース等の不定時に発生する情報を必要なユーザーに直ちに届けることができる。これにより、モバイル端末2の機能・利用価値を向上させることができる。

【0115】また、広告データを入れ替える場合は、同一の商品に対して、バリエーションの異なる広告を行うことができ、あるいは、物語風に連続性のある広告データを届けることができ、商品に対してユーザーの興味を維持できる広告を行うことができる。

【0116】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明による「携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム」によれば、テレビ等の従来のマスコミュニケーションによる広告のように不特定多数の人に対して行っていた広告と異なり、それぞれ異なる属性を有するユーザーに応じて特化した一対一の広告を行うことができる。これにより、広告の効率を大幅に上げることができるとともに、広告の効率改善に伴って、広告費用を大幅に削減でき、かつ、ダイレクトメールのように人的・物的資源を浪費することもない。また、ユーザーにとっても、携帯電話の利用料金を低減する利点を提供することができる。

【0117】また、本発明の広告配信システムによれば、ユーザーが興味を示した情報、広告データについては、直ちに把握することができる。この情報は、ユーザーの属性情報と合わせて処理することにより、広告自体に対する評価、あるいは、商品の消費動向、流行傾向情報、ユーザーの嗜好情報として、有益な情報を提供することができる。

【0118】また、ホームページアクセス機能を備えた本発明の広告配信システムによれば、容量的に小さいモバイル端末2により、詳しい情報にアクセスする手段を与える。すなわち、興味ありそうなユーザーに、ホームページにアクセスする窓口となる広告データを示し、必要なユーザーはモバイル端末によってホームページに容易にアクセスすることができるのである。

【0119】さらに、新着情報配信機能を備えた本発明の広告配信システムによれば、同一の商品に対して異なるバリエーションの広告を出したり、あるいは、物語風に連続性のある広告を出したり、従来になかった方法によってユーザーの興味を維持しつつ、効果的な広告を行う手段を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の「携帯電話機能を備えたモバイル端末を用いた広告配信システム」を概念的に示した説明図。

【図2】本発明の「携帯電話機能を備えたモバイル端末

を用いた広告配信システム」のモバイル端末と管理センターのハードウェア構成を示したブロック図。

【図3】本発明による基本的な広告配信システムの構成と処理の流れを示したブロック図。

【図4】表示制御手段による表示制御の流れを示したフローチャート。

【図5】ホームページアクセス機能を備えた本発明の広告配信システムの構成と処理の流れを示したブロック図。

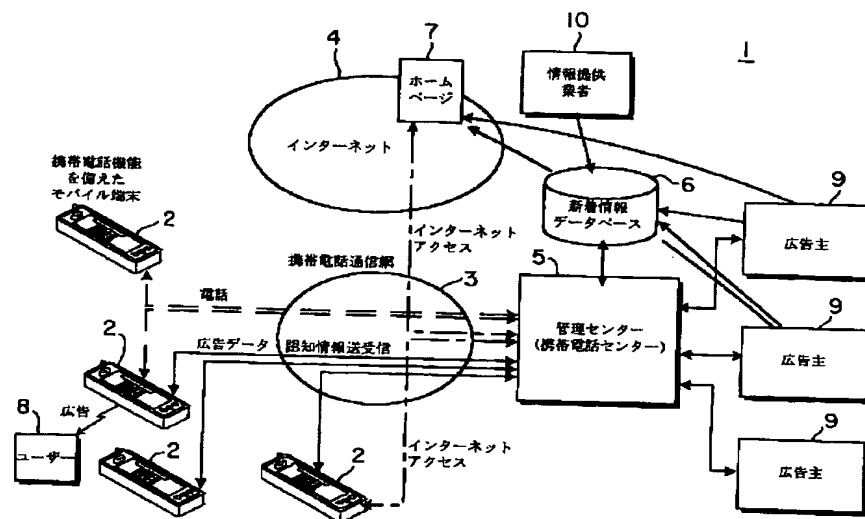
10 【図6】広告検索をする場合の画面表示制御の流れを示したフローチャート。

【図7】新着情報配信機能を備えた本発明の広告配信システムの構成と処理の流れを示したブロック図。

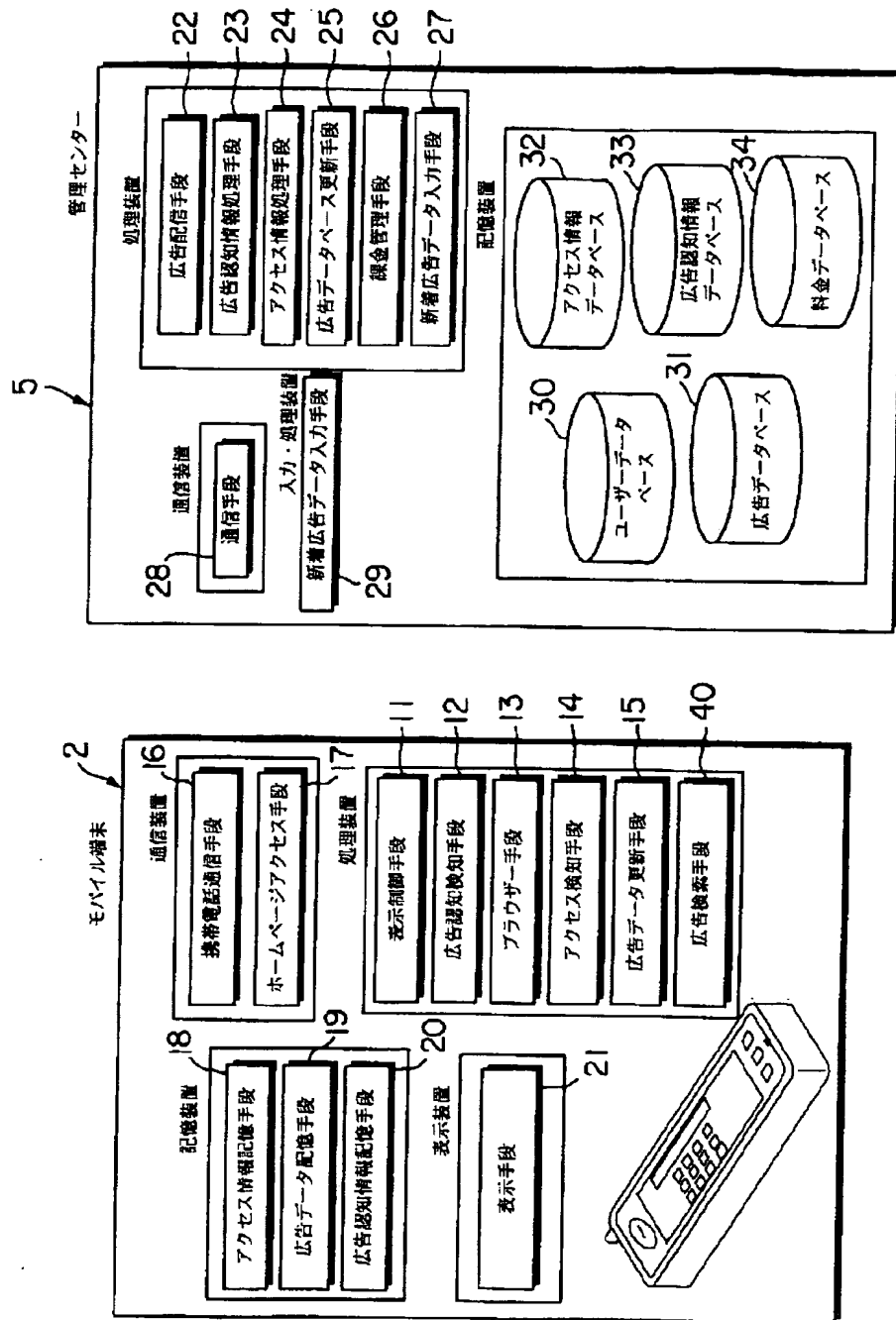
【符号の説明】

- | | |
|----|-----------------|
| 1 | 広告配信システム |
| 2 | モバイル端末 |
| 3 | 携帯電話通信網 |
| 4 | インターネット |
| 5 | 管理センター |
| 20 | 6 新着情報データベース |
| | 7 ホームページ |
| | 8 ユーザー |
| | 9 広告主 |
| | 10 情報提供者 |
| | 11 表示制御手段 |
| | 12 広告認知検知手段 |
| | 13 ブラウザー手段 |
| | 14 アクセス検知手段 |
| | 15 広告データ更新手段 |
| 30 | 16 携帯電話通信手段 |
| | 17 ホームページアクセス手段 |
| | 18 アクセス情報記憶手段 |
| | 19 広告データ記憶手段 |
| | 20 広告認知情報記憶手段 |
| | 21 表示手段 |
| | 22 広告配信手段 |
| | 23 広告認知情報処理手段 |
| | 24 アクセス情報処理手段 |
| | 25 広告データベース更新手段 |
| 40 | 26 課金管理手段 |
| | 27 新着広告データ入力手段 |
| | 28 通信手段 |
| | 29 新着広告データ入力手段 |
| | 30 ユーザーデータベース |
| | 31 広告データベース |
| | 32 アクセス情報データベース |
| | 33 広告認知情報データベース |
| | 34 料金データベース |
| | 40 広告検索手段 |

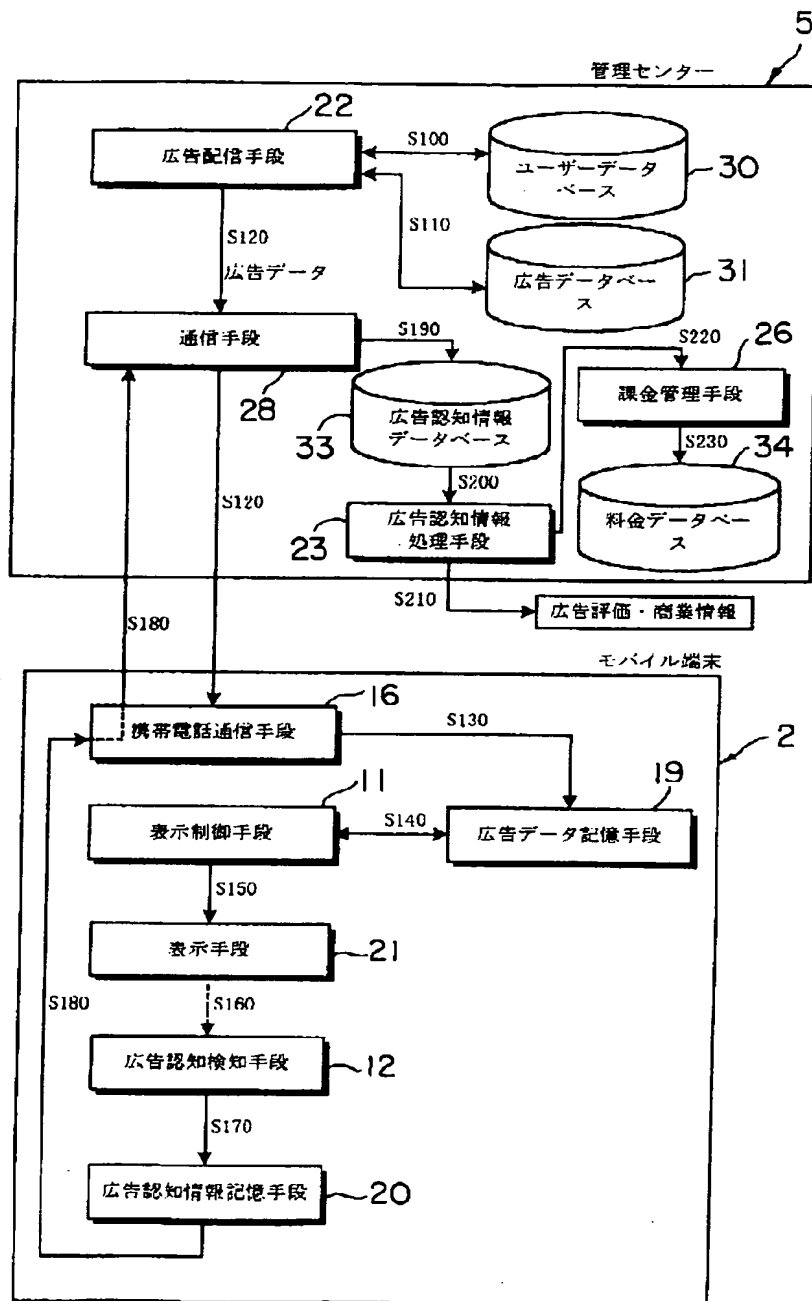
【図1】



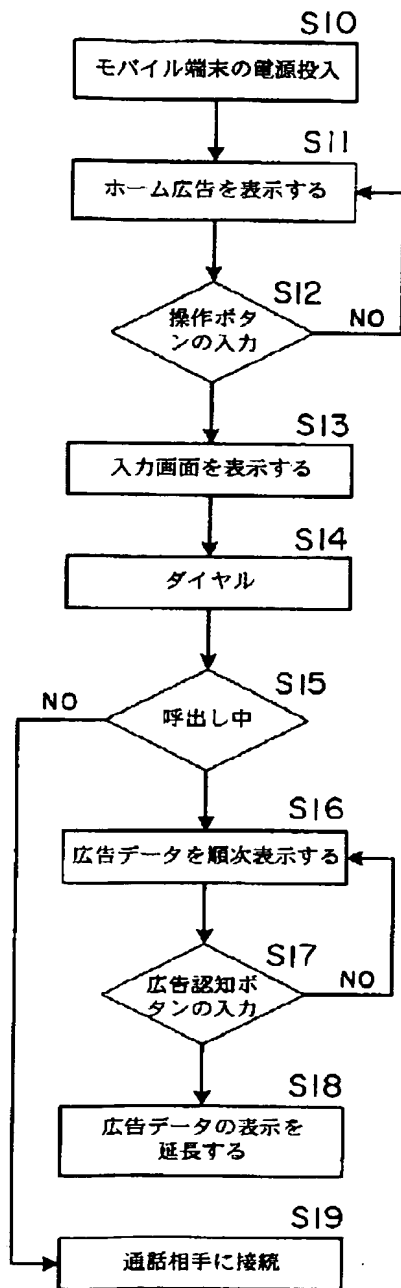
【図2】



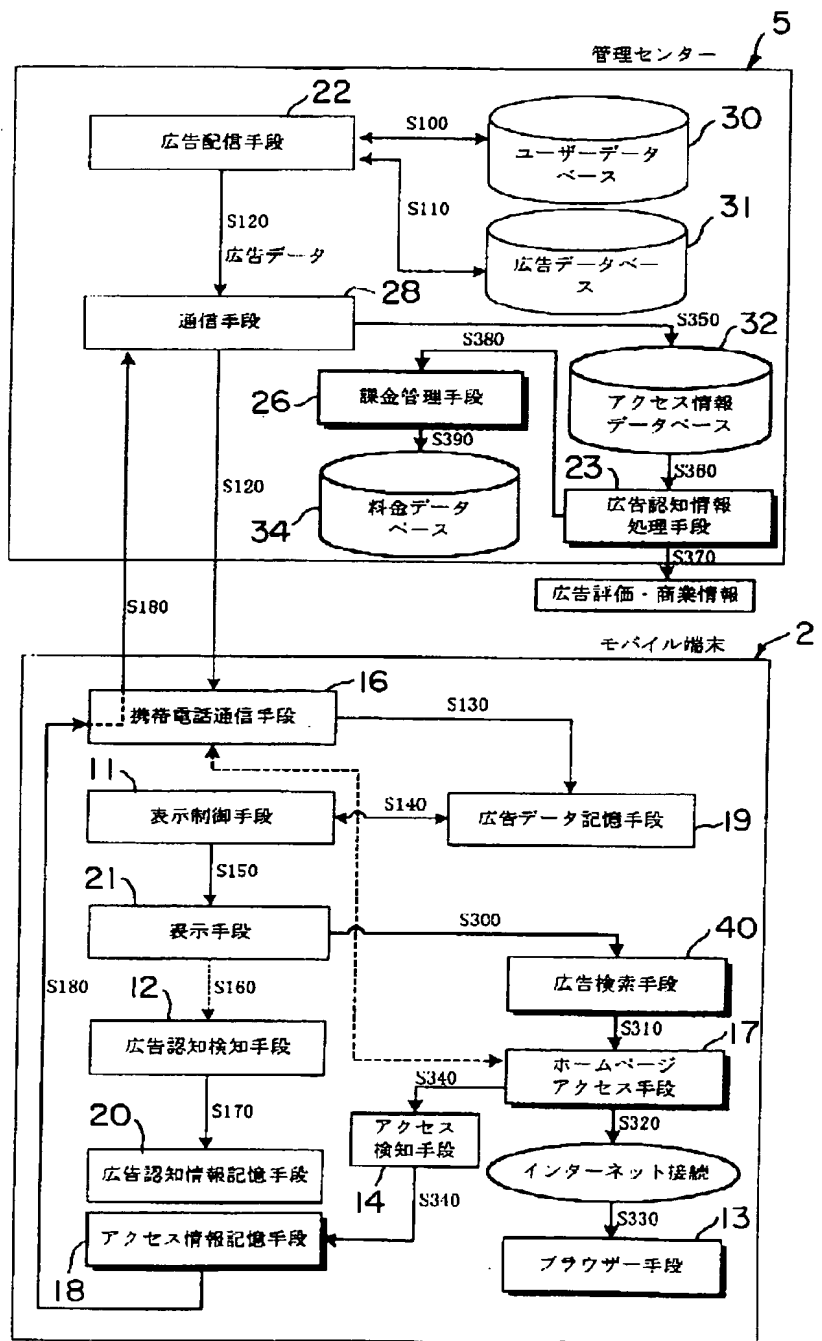
【図3】



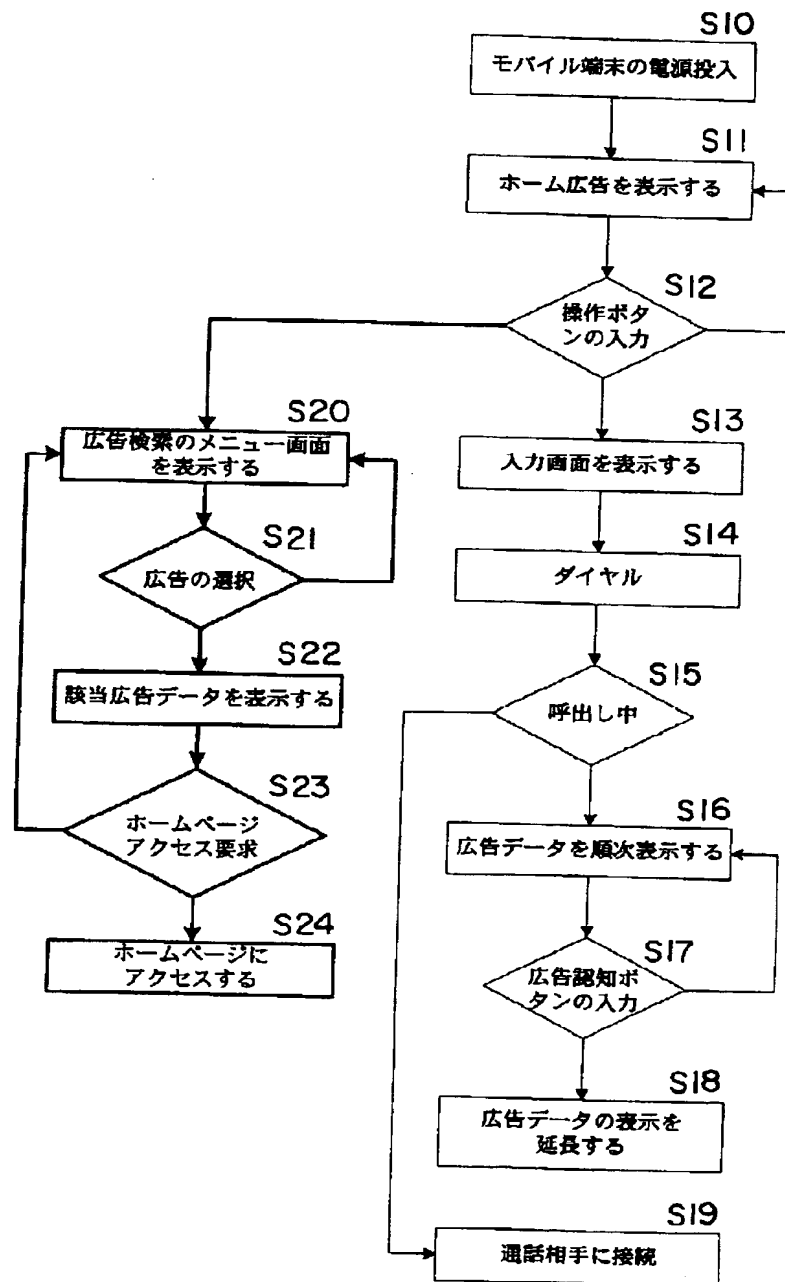
【図4】



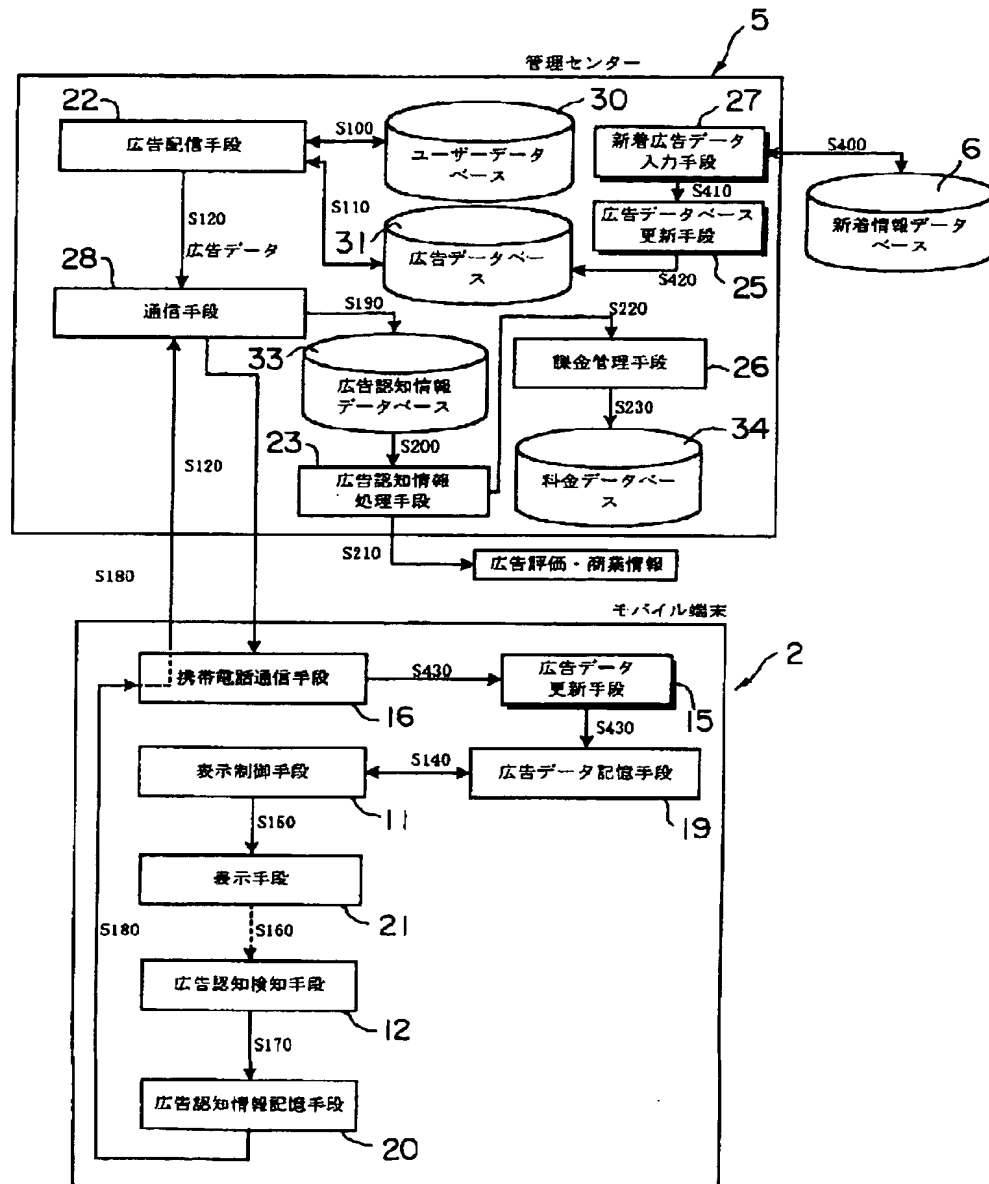
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

H 0 4 L 12/18
12/54
12/58

識別記号

F I

G 0 6 F 15/40
H 0 4 B 7/26
H 0 4 L 11/18
11/20
H 0 4 Q 7/04

テーマコード(参考)

3 7 0 Z
1 0 9 H
1 0 1 B
D

F ターム(参考) 5B049 BB49 CC02 CC31 CC36 EE02
EE05 FF03 FF04 FF06 GG03
GG06 GG07
5B075 KK03 KK07 KK20 KK33 KK40
ND03 ND20 ND23 ND36 NK46
PP30 PQ02 PQ42 PR03 UU40
5B089 GA01 GA25 GB01 GB04 HA10
HA13 JA33 JA36 JB16 JB22
KA15 KA16 KB04 KB06 KB10
KB12 KC14 KC44 LB04 LB14
LB15
5K030 HA06 HB00 HC01 HC09 JT09
LA19 LD02 LD07 LD16
5K067 AA34 BB04 BB21 DD13 DD24
DD51 EE02 EE10 EE16 FF02
FF23 FF31 HH23 KK15